

令和５年度第３回刈谷市国際化・多文化共生推進委員会（書面会議）【議事録】

<議題>

- （１）第２次刈谷市多文化共生推進計画（案）へのパブリックコメント結果について
- （２）第２次刈谷市多文化共生推進計画（案）概要版について

<第２次刈谷市多文化共生推進計画（案）へのパブリックコメント結果について>

【委員からの主な意見】

- 行政による法・インフラ整備に加えて、民間での草の根の交流の機会も大切にし、それを多くの市民の目にふれさせることで、外国人と日本人がお互いの国の文化・習慣に対して気づける場面を増やすことが重要だと思った。
- No.5 について、医療に関する言葉はかなり難しいので、医療現場では通訳が必要とを感じる。
- No.6 の高校進学への支援体制に関して、進路担当教員や、日本語適応担当教員、語学指導員らが協力して、言語別の進路説明会を開いている。また、各学校での進路説明会においても、語学指導員が通訳として参加するなどしている。状況を把握しながらできることを検討し、様々な取組がされている。
- No.7 の「多文化共生は、外国人を雇用したい企業の要請により、外国人を地域に受け入れる必要があるとして、提唱され始めたものと理解しています」について、外国人の雇用や受け入れについて企業が要請したということを書かれたものではないでしょうか。外国人を働き手として企業が必要とするのであれば、受け入れ後の多文化共生の取組にも、企業がもっと関わるべきだと考えて意見をされているのではないかと思います。つきましては、市の考え方に「(最初の２行は削除)外国人の雇用を望む企業が、地域の多文化共生の推進に主体的に関わりを持つことは、本市としても望ましいと考えています。」と記載してはどうか。
- ➡最初に２行「多文化共生の取組が、外国人を雇用したい企業の要請により始まったという事実は確認できませんでした。」という記載は必要と考えるので削除しないで、「外国人の雇用を望む企業が、地域の多文化共生の推進に主体的に関わりを持つことは望ましいと考えている」という内容を追記します。

○No. 11 の意見に対しての回答が不足しているのではないか。「多言語ややさしい日本語による情報提供により、外国人市民も義務に努めるとともに、市民として地方公共団体の役務を等しく受けられるよう、ルールや制度を理解してもらえよう努めます」といった内容も記載してはどうか。

➡ルールや制度の理解を促進するため、やさしい日本語や多言語による情報提供を実施する旨を追記します。

<第2次刈谷市多文化共生推進計画（案）概要版について>

【委員からの主な意見】

○外国人が生活していく上で、情報を発信する「キーマン」や「リーダー」の存在は大きいと思う。外国人のリーダーが多く育成され、地域のリーダーとつながり、外国人が地域のリーダーも担えるようになるとよい。

○1 ページ下部の円グラフのところに、文化、習慣、在留資格に関する記載にしてはどうか？また、SDGs の説明として、目標に向けて取組が必要である旨を記載してはどうか？

➡意見に沿って修正する。

○外国人は行政区を越えてコミュニティを形成しており、広域的な観点で計画を立て、具体的に重点協働プロジェクトに盛り込んでどうか。

➡重点協働プロジェクトには記載はありませんが、4 ページの「計画の推進体制」に記載のとおり、国、県、近隣自治体と連携・協働して、広域的な視点も踏まえ、事業を実施します。